

メトホルミン塩酸塩錠250mg/500mgMT「JG」

をのむときに気をつけること

あなたがのむおくすりはメトホルミン塩酸塩錠MT「JG」です

- メトホルミン塩酸塩錠MT「JG」（メトホルミン塩酸塩錠）は、血糖値を下げるおくすりです。

おくすり（メトホルミン塩酸塩錠）ののみ方

- お医者さんまたは薬剤師さんの指示通りにのんでください。
- のむのを忘れてしまったら、1回とばして次の時間に1回分をのみましょう。2回分を一度にのんではいけません。

低血糖に注意しましょう

- 血糖値が低くなりすぎると、強い空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛などの低血糖症状が起きることがあります。その場合はすぐに砂糖やブドウ糖をとりましょう。砂糖とブドウ糖のどちらをとるのがよいかはお医者さんまたは薬剤師さんにききましょう。
- 高くて不安定なところにいるとき、自転車に乗っているときに低血糖症状を起こすと事故につながる危険があります。

【保護者の方へ】

- ◇患者さんに上のような症状がみられたり、「ボーッとしている、うとうとしている、ろれつが回らない」などの様子に気づいたときには、すぐに砂糖やブドウ糖をとらせてください。
- ◇ α -グルコシダーゼ阻害薬と呼ばれる薬をのんでいる場合には、砂糖ではなくブドウ糖をとる必要がありますので、あらかじめ医師または薬剤師に確認してください。
- ◇砂糖やブドウ糖をとれば通常5分以内に症状は改善しますが、よくなるしないときや「意識がなくなる、けいれんを起こす」などの場合にはすぐに医師にみてもらうようにしてください。

乳酸アシドーシスという副作用をおこさないために

- 熱があるとき、下痢（げり）や嘔吐（おうと）があるとき、食欲がなく食べられないときは、メトホルミン塩酸塩錠をのむのをいったんやめてお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
- 適度に水分を取りましょう。

【保護者の方へ】

- ◇ まれに乳酸アシドーシスという治療が必要な副作用がおこることがあります。
症状は、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、体がだるい、筋肉痛、呼吸が苦しい、などです。
これらの症状がひどいときまたは続くときは、すぐに医師にみてもらうようにしてください。
- ◇ 脱水状態のときは乳酸アシドーシスが起きやすくなりますので、脱水が起きないように注意してください。発熱、下痢、嘔吐、食欲がなく食事がとれないときは脱水を起こすことがあります。このようなときは、メトホルミン塩酸塩錠をのむのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。
- ◇ 次のときにはメトホルミン塩酸塩錠をのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - *手術を受けるとき
 - *ヨード造影剤と呼ばれる薬を使う検査や治療を受けるとき
 - *別の薬をもらうとき

医療機関名